

笑顔とがんばりの町

# おのまち議会だより

143号

平成27年  
8月27日発行



夜空に響く太鼓の音色  
たかむら音頭保存会(おのまち夏まつり)

## 主な内容

定例会6月会議の結果……………2	議会活動トピックス……………10
町政を問う3人が一般質問……4	5月～7月の議会活動日誌……11
追跡・あの一般質問を検証!……8	町民の声……………12
7月第1回会議の結果……………9	

# 定例会6月会議

6月10日～6月15日

平成27年小野町議会定例会6月会議は、6月10日から15日まで6日間の日程で開かれました。

会議では、平成27年度一般会計補正予算、条例の一部改正など4件の議案を全て原案のとおり可決したほか、各会計予算の繰越明許費繰越の報告がありました。

また、3名の議員が一般質問を行い、町政各般にわたり町長の考えをいただきました。



▲本会議の様子

## 3,615万5千円追加する 補正予算を可決

一般会計歳入歳出それぞれ3,615万5千円を追加し、歳入歳出それぞれの総額を51億1,045万4千円とするものです。

### 【主な補正内容】

歳入	項目	補正額
	福島県地域創生総合支援事業県補助金	856万円
	多面的機能支払事業交付金(県補助金)	806万円
	東日本大震災復興支援基金繰入金(市町村復興支援交付金分)	1,658万円

歳出	項目	補正額
	保育園、児童園、幼稚園の耐震診断業務委託料	379万円
	多面的機能支払交付金事業補助金	1,075万円
	除雪用機材購入費補助金	1,900万円

※1万円未満切り捨て

## 条例の一部改正

### ◆国民健康保険税の税率が改定

小野町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

平成27年度の国民健康保険税の税率を改定するため、条例の一部を改正するものです。(全員賛成で可決)

国保税は、国民健康保険制度を運営するために、その年度に見込まれる総医療費などから、国や県などの負担分を差し引いた残りを各世帯が負担します。(詳しくは「広報おのまち7月号」をご覧ください。)

## 請負契約変更

### ◆小野新町地区仮置場敷地造成工事 請負変更契約の締結について

小野新町地区仮置場敷地造成工事の工事内容に変更が生じたため、議会の議決を経て変更契約を締結するものです。(全員賛成で可決)

工事請負契約の場合、予定価格が5,000万円以上の工事に係る契約及びその後の変更契約の締結は議会の議決が必要となります。



▲小野新町地区仮置場敷地造成工事の様子

## 人事案件

### ◆人権擁護委員候補者を適任と認定

法務大臣に人権擁護委員の推薦を行うための人権擁護委員の候補者に、二瓶芳子氏(上羽出庭)を推薦したいとして、議会に意見を求められたことから、全員一致で推薦は適任と判断したものです。

## 報告事項

平成26年度予算で平成27年度に繰り越した繰越明許費(※)について報告がありました。

平成26年度小野町一般会計予算繰越明許費繰越の報告について  
平成26年度小野町国民健康保険特別会計予算繰越明許費繰越の報告について  
平成26年度小野町後期高齢者医療特別会計予算繰越明許費繰越の報告について  
平成26年度小野町除染対策事業特別会計予算繰越明許費繰越の報告について  
平成26年度小野町介護保険特別会計予算繰越明許費繰越の報告について

(※)繰越明許費：国または地方自治体の予算は、年度内に使用する(※)が原則(会計年度独立の原則)ですが、年度内に支出が完了できない見込みのある予算について、あらかじめ議会の議決を経て翌年度に繰り越して使用することができる費用を繰越明許費といいます。

自治体の長は、繰越明許費について、翌年度の5月31日までに繰越計算書を作成し、地方自治法施行令第146条第2項の規定により、次の議会に報告する(※)となっています。

## 村上議長と久野副議長に自治功労者表彰

### 福島県町村議会議長会自治功労者表彰

6月10日の定例会6回会議の冒頭で村上議長と久野副議長に福島県町村議会議長会自治功労者表彰が伝達されました。

この表彰は、町村議会議員として11年以上在職し、地方自治発展への功績が認められた方に授与されます。

# 町政を問う

◆ 遠藤 英信 議員 ..... 5ページ

- ・農業・商業・工業の調和のとれた活力ある地域づくりについて
- ・定住人口の増加対策について
- ・教育の充実について
- ・除染と震災復興の推進について
- ・保健・医療・福祉の充実について
- ・質の高い行政運営について
- ・安全・安心の確保と生活基盤の整備促進について◆
- ・小野町の将来ビジョンについて◆

◆ 会田 明生 議員 ..... 6ページ

- ・空き家対策特別措置法施行後の取り組みについて
- ・中小規模事業者の経営力強化への応援について◆
- ・地域経済対策等への首長アンケートについて◆

◆ 竹川 里志 議員 ..... 7ページ

- ・包括的支援事業の状況について
- ・地域包括ケアシステムの構築について◆
- ・地方創生の概要について◆
- ・地方創生への取り組みについて◆
- ・文化財の保護と管理状況について
- ・文化財の活用と継承について

※紙面の関係上、「◆」の質問と答弁の内容のみ要約して掲載しています。掲載されていない質問項目の内容等は、9月下旬に小野町のホームページに掲載します「会議録」をご覧ください。



**問** 安全安心の確保と生活基盤の整備促進の進捗状況について

**答** 町民一体となった体制の充実と生活基盤整備を計画的に実施



遠藤 英信 議員

**問** 町長は、7の柱と25の実行を掲げ、町民本位のまちづくりと人口減少の歯止め、そして小野町の確かな未来とふるさと再生を目指してきました。任期半ばですが、これまで町民の付託にどう応えられたのか検証を行う必要があると思えます。7の柱と25の実行のうち、安全安心の確保と生活基盤の整備促進について、その進捗状況を伺います。

**町長** 安全安心の確保に關しては、東日本大震災を踏まえ、地域全体の防災力を高めることの必要を痛感し、町内全域、全世代による防火防災意識や体制の整備が重要であると考え、女性消防協力隊と中学校消防クラブを設立し、町民が一体となった体制の充実を図ってきました。また、防火防災の要となる消防団には、ポンプ置場などの施設の整備、小型動力ポンプ、積載車などの機材器具の充実と、技術力の向上支援を行っています。生活基盤の整備促進に關しては、右支夏井川河川改修事業により家屋移転を余儀なくされる移転対象者の方々に對し、移転代替地情報の提供や中通地内に移転代替地として宅地造成整備を行っています。また、農道、町道の改修整備では、農道を含めた道路の改良等を計画的に実施しており、今後も生活に密着した道路整備の推進、生活基盤の充実を図っていきます。



救命講習を受ける こまち女性消防隊

**問** 少子高齢化、人口減少など課題が山積する中、町長は小野町の将来ビジョンを町民に示さなければならぬと思えます。行政、議会、町民が協働できる環境づくりを意図して、「町民が主役」のオール小野町の体制を築かれることを望みますが町長の考えを伺います。

**問**

小野町の将来ビジョンについて

**答**

課題解決や夢のあるまちづくりにオール小野町の姿勢で取り組む

**町長** 除染や企業誘致による雇用の拡大、公立小野町地方総合病院の新築にあわせた医師確保など、早急に取り組むべきことについて精力的に進めてきました。しかし、震災からの復興、原発事故による風評被害、少子高齢化など、中長期的に取り組むべき課題が多く、今後は残された課題に對しては、現在策定中の小野町人口ビジョンと地域創生総合戦略に基づき解決を図っていきたく考えてあります。この地域創生総合戦略等の策定にあたっては、行政のみならず、議会や町民、有識者の意見をできるだけ取り入れて、残された課題の解決や夢のあるまちづくりにオール小野町の姿勢で取り組んでいきます。

**再質問** 管理者の区別に關係なく、町内の県道や河川などの現況を点検して、安全安心を実感できるまちをどのようにつくるのか伺います。

**町長** 住民生活に直結している道路及び河川等の社会基盤は、国、県、町ごとに管理主体が異なっていますが、管理者の区別なく住民の安全安心の確保に向け、関係機関と連携し維持管理、改修整備に努め、誰もが暮らしやすい安全で安心できる生活基盤の確保、環境の整備を図っていきます。

## 問 地方創生の概要について

## 答 人口減少に歯止めをかけるための事業を実施

**企画政策課長** ふるさと創生事業は昭和63年から平成元年にかけて、各地方自治体が自ら主導する地域づくりを実現するため、その使い道について国は関与しない制度で、地方交付税が交付されている市町村に交付した制度でありました。また、一括交付金事業は、平成22年に決定された地域主権

**問** 国では地方活性化のための地方創生による大型予算の交付金が計画されています。過去にも同じようにふるさと創生事業や一括交付金事業もありましたが、過去の事業と地方創生事業の大きな違いを伺います。



小野町独自の地方創生戦略について話し合う  
(庁内に設置した小野町地域創生総合戦略推進本部ワーキンググループ)

一方、今回の地方創生事業は、人口減少が避けられない現状において、地方公共団体が人口減少に歯止めをかけるための地方創生に関する事業を実施するにあたり、自主性、主体性を最大限に発揮されるよう財政的支援として新型交付金が創設されることとなりました。

**問** 国では地方活性化のための地方創生による大型予算の交付金が計画されています。過去にも同じようにふるさと創生事業や一括交付金事業もありましたが、過去の事業と地方創生事業の大きな違いを伺います。



竹川 里志 議員

戦略大綱に基づいて、地域のことは地域が決める地域主権を確立するため、地域の自主的な選択に基づいて事業を実施するための交付金を交付した制度でありました。

## 問 地方創生への取り組みについて

## 答 平成27年度中の地方版総合戦略策定に向け作業を進めている

**問** PDCAサイクルを導入する現在計画中の地方版総合戦略の考えを伺います。

※PDCAサイクルとは、plan(立案計画)、do(実施)、check(検証評価)、action(改善)の頭文字を取ったもので、行政政策や企業の事業活動にあたって計画から見直しまでを貫いて行い、さらにそれを次の計画・事業にいかそうという考え方があります。

**町長** 国では、西暦2060年に1億人程度の人口を確保する中長期展望を示しており、具体的な施策は総合戦略で今年度から5年間の内容を掲げています。町も同様の期間を見据え、地方人口ビジョンにおいて中長期の将来展望を掲げ、地方版総合戦略に政策目標や施策を盛り込む必要があります。策定作業は、現在平成27年度中の策定を目指し、内部体制を整え、意見の集約などを行っているところであります。

**町長** 先ほどの答弁のとおり、あらゆるデータ分析などを行い、目標となる数字を定めていきたいと考えています。



## 問 中小規模事業者の経営力強化への応援について

## 答 中小規模事業者が望む支援策を検討

**町長** 本町の経済活動を発展させ、町民が豊かで活力ある生活を実現していくためには、町民生活と地域経済に密接に関係する中小規模事業者の経営力の安定と強化を図ることは極めて重要であると考えています。



小野町企業立地等懇談会

**問** 小野町の経済社会、雇用を支える存在として極めて重要な役割を果たしている中小規模事業者等の方の経営力強化等の支援について、どのように考えているのか、町長の考えを伺います。

す。そのためには、小野町商工会をはじめ関係機関との連携のもと、中小規模事業者の経営基盤安定と経営力強化の支援を図ります。また、日々変化する経済状況や社会情勢による中小規模事業者への必要な支援策を的確に捉えるため、小野町商工会、小野町企業立地等懇談会、小野町異業種交流会など、事業経営者等との意見交換を積極的に行い、中小規模事業者が望む支援策を検討していきます。



会田 明生 議員

勝手の良いものにしていくべきだと思いますが、町長の考えを伺います。

**町長** 様々な支援策があると考えられます

## 問 地域経済対策等への首長アンケートの回答について

## 答 景気は徐々に回復しているように思っている

**問** 昨年11月20日の朝刊に、県内59市町村の首長に対しての国の経済対策等の評価を聞くアンケート調査結果が掲載され、大和田町長だけが景気や雇用の回復が徐々にあると感じられると回答していました。

調査に対し、どのような判断材料によって回答したのか伺います。

**町長** 震災特需の影響も考えられますが、県の経済動向等を見ますと個人消費状況、雇用状況、求人倍率等、いずれも向上しており、また地元企業の方からも最悪の時期からは脱したとお話を伺っており、景気は徐々に回復しているという思いからアンケートに回答したものであります。

しかし、町民の方から景気が回復しているとは思えないという声も聞いています。小野町を含め地方が景気回復を実感

できるよう、国・県に対して引き続き要望することにも、町としても農商工の調和のとれた地域づくりに取り組みしていきます。

**再質問** アンケートに対しては、町長自らの考え、感じ方をもとに回答する場合もあるかと思いますが、一方で住民の代表として、住民の声を回答する場合も必要であると考えています。住民の声を町長が代表して代弁することに関してはどのように考えるか伺います。

**町長** 町民の声を大事にして、アンケート等に答えていく必要があると考えています。

## 7月第1回会議開催

7月23日に平成27年小野町議会7月第1回会議を開催し、次の議案を全員賛成で議決しました。

### 補正予算

◆平成27年度小野町水道事業会計補正予算



▲鬼石地内踏切付近の上水道配水管漏水現場

谷津作字鬼石地内の踏切付近で上水道配水管から漏水が発生したため、その修繕費用として987万3千円追加補正するものです。

### 条例の一部改正等

◆小野町公営住宅管理条例の一部を改正する条例について

福島復興再生特別措置法による入居者資格の特例範囲を「居住制限者」から「特定帰還者」と「居住制限者」に区分し、特例対象を拡大するため改正するものです。

※居住制限者とは、避難指示区域に存する住宅に平成23年3月11日において居住していた方です。

※特定帰還者とは、避難指示区域又は避難解除区域に存する住宅に平成23年3月11日において居住し、その住宅の存した市町村に帰還する方です。

## 廃校の活用方法について

### 質問

廃校を農村体験交流施設またはスポーツ・芸術活動などの合宿施設に整備し、地域の活性化につながる用途に活用してはどうか。(平成25年定例会6月会議)

### 答弁

全国の先進事例を参考にしながら活用方法を検討していきたい。

### その後

現在、廃校の体育館はスポーツ団体等が利用しているほか、校舎の一部は書庫・倉庫として使用しています。また、旧つくし児童園は、今年の4月から家具工房として民間業者に貸付しています。

さらに、地域活性化を図るため、廃校施設を有効活用できる企業等を募集しています。これまで企業等から問い合わせがあり、現地を案内していますが、現時点では具体的な活用には至っていません。

今後も、早期の有効活用を図るため、企業誘致等に向けた各種施策を継続していきます。

## 認定こども園について

### 質問

幼保一元化に伴う施設建設については、平成19年に基本計画が策定され、平成23年度に完成されるとのことであったが、今のところその道筋がみえない。建設場所等を検討されるかと思うが、現在の進捗状況を伺いたい。(平成25年定例会9月会議)

### 答弁

早急かつ慎重に建設場所の候補地選定を進めていく。

### その後

第四次小野町振興計画後期基本計画(計画期間:平成26年度から平成30年度)の主要プロジェクトに「認定こども園」の整備による幼児環境の充実を掲げ、施設整備に向け取り組みを進めています。

平成26年12月に学識経験者を含む町内外の方々を委員とする「小野町公共施設等整備検討委員会」を組織し、その中で認定こども園部会を設置し、運営、保育内容、施設整備等について検討をいただいているところです。

町では、これらのご意見を踏まえながら平成27年度内に候補地調査を行い、施設整備に向けて取り組んでまいります。

◆復興産業集積区域における小野町税の特例に関する条例の一部を改正する条例について  
福島復興再生特別措置法の一部改正に伴い、所要の改正を行ったものです。

◆小野新町地区仮置場進入路整備工事(3・4工区)請負変更契約の締結について



▲小野新町地区仮置場進入路整備工事(3・4工区)の様子

小野新町地区仮置場進入路整備工事(3・4工区)の工事内容に変更が生じたため、議会の議決を経て変更契約を締結するものです。

工事請負契約の場合、予定価格が5,000万円以上の工事に係る契約及びその後の変更契約の締結は議会の議決が必要となります。

◆財産の無償譲渡について

「笑顔とがんばり小野町定住・二地域居住推進事業実施要綱」に定める町有林おすそわけ事業の申請がなされたため、町有林の立木(杉)10立方メートルを無償譲渡するものです。

## 小野町議会の議員全員による 議会報告会を開催

下記日程で開催します。町民の皆さま、どうぞお気軽にご参加ください。詳細は、チラシ等でお知らせします。

- ◆夏井地区 平成27年9月28日(月) 午後7時～ 夏井多目的集会施設
- ◆飯豊地区 平成27年9月29日(火) 午後7時～ 飯豊小学校体育館
- ◆小野新町地区 平成27年9月30日(水) 午後7時～ 小野町多目的研修集会施設

※時間は概ね1時間30分を予定しています

# 議会活動トピックス

## 川内村行政調査(5月11日)

川内村の東日本大震災及び原子力災害からの復旧・復興に向けたこれまでの取り組みや村内の各種公共施設を視察しました。  
 遠藤村長から、「震災から4年 川内村の現状と課題」と題して、これまでの復興状況及び除染、雇用の確保、健康管理、教育環境など各分野における今後の課題について説明を受け、現在の川内村の復旧・復興の現状を調査しました。  
 また、各種公共施設の視察では、施設整備に至った経過と現在の利用状況等を調査しました。



▲遠藤村長から概況説明を受ける

## 小野町議会全体研修(6月24日~28日)

小野町議会では議員個々が広い視野に立った政策立案能力を養うことを目的に、町内に工場を置くアルパイン・テクノロジー・マニュファクチャリング(株)及び(株)神崎製作所の海外グループ会社(タイ王国)を訪問し、海外事業展開の状況と今後の動向等について情報収集、意見交換等を行いました。  
 また、公共施設等を視察し、施設の運用状況を直接見聞しました。

<視察訪問先>

- K.S. モールドパーツ株式会社(株)神崎製作所関連会社)
- アルパイン・テクノロジー・マニュファクチャリング・タイ(アルパイン・テクノロジー・マニュファクチャリング(株)関連会社)



▲K.S. モールドパーツ(株)(工場を視察する)



▲アルパイン・テクノロジー・マニュファクチャリング・タイ(会社概況説明を受ける)

## 小野町消防団との意見交換会(7月8日)

小野町議会では各種団体の皆さんから様々な意見をお聞きし、意見交換を行い、より地域課題などに即した議会活動とするため、意見交換会を開催しています。  
 今回は、7月8日に地域の防火防災の要である小野町消防団と活動の現状と今後の課題等について、それぞれの立場から活発な意見交換を行いました。今後の安心・安全な町づくりに向けての議会活動に役立てていきます。



▲意見交換会の様子

# 議会活動日誌

## 5月 May

- 8日 ■小野町老人クラブ連合会通常総会
- 11日 ■川内村行政調査(川内村)
- 12日 ■議会広報編集委員会  
■企業対策特別委員会(町内企業訪問)
- 14日 ■議会運営委員会  
■全員協議会  
■小野町議会5月第1回会議  
■月例全員協議会  
■田村地区交通安全協会小野支部定期総会
- 16日 ■飯豊小学校運動会  
■浮金小学校運動会  
■夏井第一小学校運動会
- 18日 ■小野町商工会第56回通常総代会
- 20日 ■議会広報編集委員会  
■町村議会広報研修会(郡山市)
- 21日 ■県南地方町村議会議長会連絡協議会定期総会(天栄村)
- 22日 ■田村地区交通安全協会定期総会(田村市)  
■小野町更生保護女性会定期総会
- 23日 ■田村医師会総会祝賀会(田村市)

## 6月 June

- 24日 ■高柴山山開き  
■たむら農業協同組合第20回通常総代会(田村市)
- 25日 ■例月出納検査
- 26日~27日 ■全国町村議会議長・副議長研修会(東京都)
- 30日 ■元気発信!!おのまち交通安全パレード
- 31日 ■小野新町小学校運動会  
■ふるさと小野町会総会(埼玉県)
- 2日 ■田村地区防犯協会連合会総会(田村市)
- 4日 ■議会運営委員会  
■全員協議会
- 5日 ■福島県町村議会議長会定期総会(福島市)
- 6日 ■矢大臣山山開き  
■福島県消防大会(田村市)
- 7日 ■航空自衛隊大滝根山分屯基地創設59周年記念行事(川内村)
- 10日~15日 ■小野町議会定例会6月会議
- 15日 ■月例全員協議会
- 23日 ■例月出納検査
- 24日~28日 ■議会全体研修(タイ王国)

## 7月 July

- 1日 ■青少年育成「少年の主張大会」
- 2日 ■郡山地方広域消防組合臨時議会(郡山市)
- 8日 ■小野町消防団との意見交換会
- 13日 ■月例全員協議会  
■航空自衛隊大滝根山分屯基地視察(川内村)
- 14日~16日 ■田村広域行政組合議会行政調査(熊本県)
- 16日 ■小野町水防協議会
- 22日 ■小野町小学校水泳記録会
- 23日 ■議会運営委員会  
■全員協議会  
■小野町議会7月第1回会議  
■小野町戦没者追悼式
- 24日 ■交通事故死者ゼロ千日表彰伝達式  
■公立小野町地方総合病院企業団議会
- 27日 ■例月出納検査
- 28日~29日 ■平成26年度決算審査(現地審査)
- 31日 ■田村地方市町議会議員研修会(田村市)

# 町民の声

前回に引き続き、広報モニターの皆さんから、議会に思うことをお聞きしましたので、ご紹介します。



佐藤 京子さん

議員活動を町民に分かりやすく知らせる議会だよりも、改善するところがあつたと思います。

美味しく盛りつけられた料理には早く「はし」をつけたいように、手に取って、読んでみたい感覚を呼び起こすための改善策について、議員の皆さんと意見交換することができ大変有意義でありました。胸襟をひらき、ゆったりとした雰囲気の中忌憚なくお話し合いができ、今後の町政を知るよい機会となりました。



村上 輝男さん

日頃議員の皆さんにおかれましては、町の発展と町民の幸せのためにご努力されておりますこと、心から感謝申し上げます。議会活動は、常に町民の目線に立つて活躍してほしいと考えています。

開かれた議会(方部懇談会・夜間議会等)等は非常に大切なことだと思えますし、今後このような機会を多く持つことができると願います。町民の方々も積極的に参加し対話の機会を持つべきと考えます。



村上 剛さん

少子高齢化に伴う人口減少や、医療・介護の問題など、小野町に住む私達には生活する中で抱える不安材料が山積しています。そんな状況下だからこそ町民全体が一体となり知恵を出し合うことが必要であると思います。

若い世代にも町政に興味をもってもらい、町民の思いがストレートに伝わる、身近な存在の議会であつて欲しいと思います。



中村 和子さん

第142号の議会だよりの紙面がリニューアルされ、とても見やすくなりました。

気が付いたことは、質問されました各議員の皆様の写真を笑顔で載せたほうが良いと思いました。

笑顔であれば、自然と紙面に目がいき各議員の皆様の質疑内容を把握できるのではと思います。「笑顔とがんばりの町おのまち」でもあるように、今、話題のふるさと納税にも目を向けて我が町小野町のアピールをぜひ積極的に取り組んでいただきたいと思います。

定例会9月会議は9月3日(木)に開会の予定です。

一般質問は9月4日(金)の予定です。傍聴をお待ちしています!

※詳しくは小野町議会事務局までお問い合わせください。(0247-72-6930)

## あじがき

町民の皆様には、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

小野町の除染も全て完了し、町内3ヶ所の仮置場に搬入され、年内にも中間貯蔵施設に搬出される予定であり、ひと安心のことと思います。

また、今年は昭和30年に1町2村が合併してから60年目の年でもあり、秋には合併60周年に伴う様々な行事が予定されています。

これからも、小野町が80年、100年と続くことを願っております。

今後も、議会活動を知っていただきたく、読みやすく、親しみやすい「おのまち議会だより」を作成してまいりたいと思います。

暑さ厳しい折、どうぞご自愛ください。

議会広報編集委員

和田 康市



この印刷物は、FSC®の基準に従って認証された適切に管理された森からの木材を含んだ用紙で印刷されています。